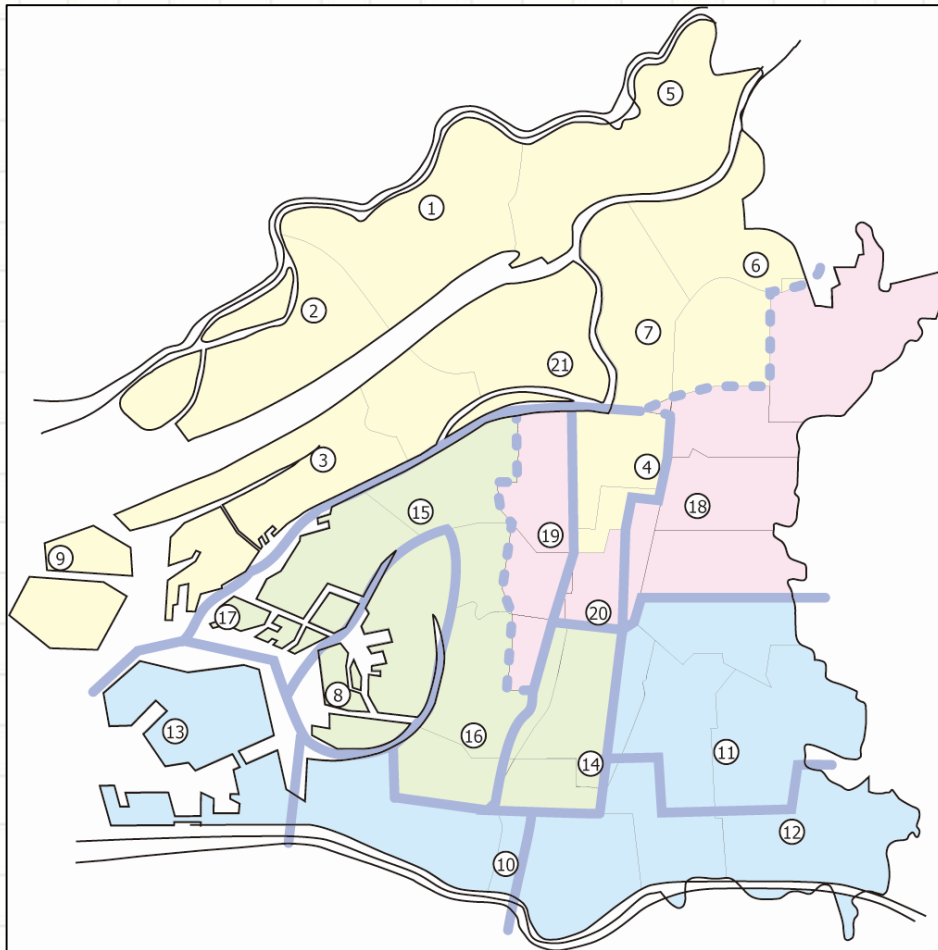


市内給水栓の水質管理①



市内給水栓21か所

■ 水質基準項目の検査

各浄水場・配水系統の水道水を
網羅するよう検査を行っています

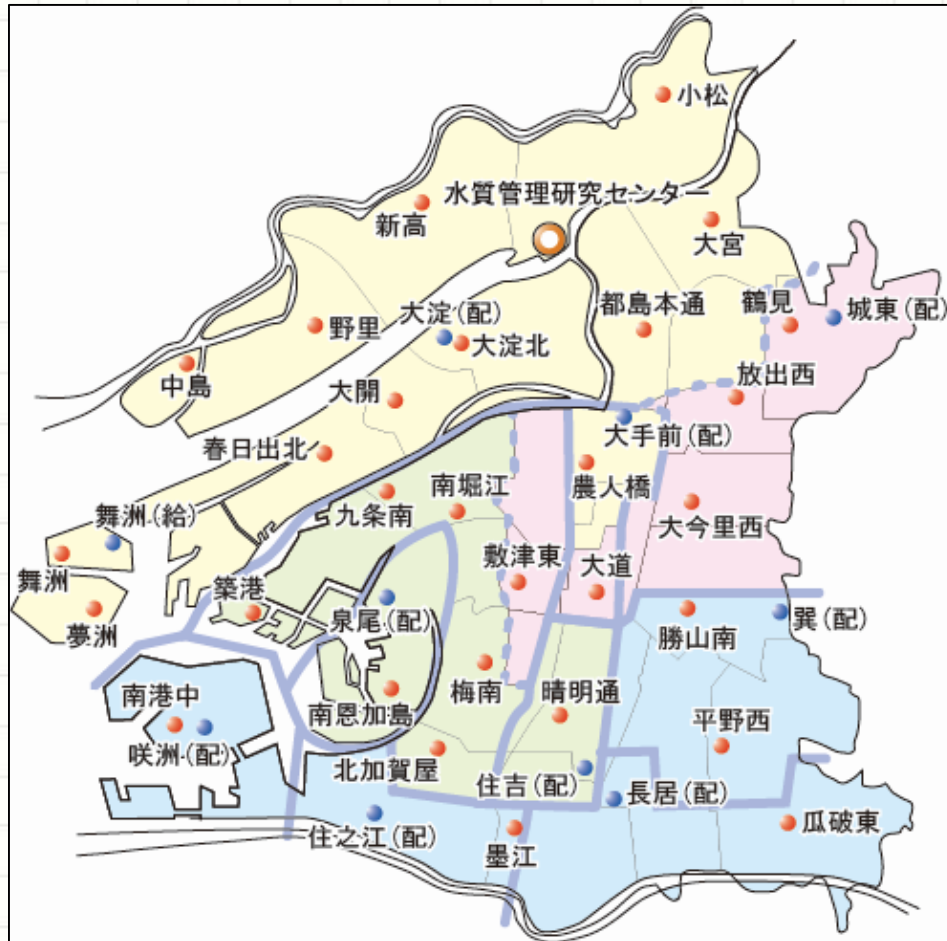
大阪市内全域で、水道水の品質が保たれている事を確認します

市内給水栓での試料採水の様子



大阪市内の公園や公共施設等の給水栓で採水を行います

市内給水栓の水質管理②



水質遠隔監視装置

- 毎分データ送信
- pH値など6項目のみ

- ・水温
- ・濁度
- ・色度
- ・pH値
- ・電気伝導率
- ・残留塩素濃度

子局 計39局



水質遠隔監視装置
(水質テレメータ)

親局

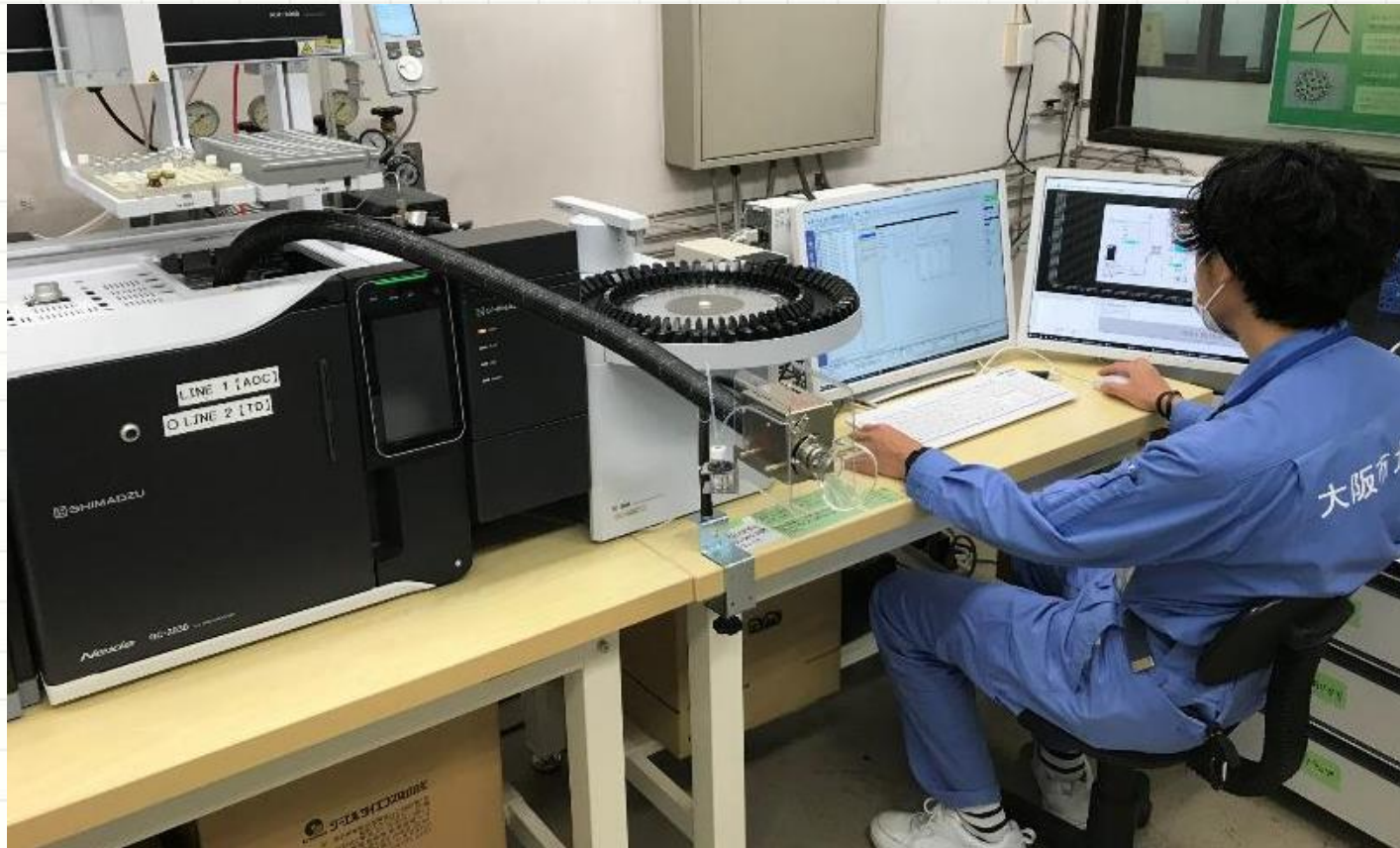


水質管理
研究センター

水質遠隔監視装置(水質テレメータ)により、
市内各地の水質データを毎分取得し、常時監視しています

調査研究

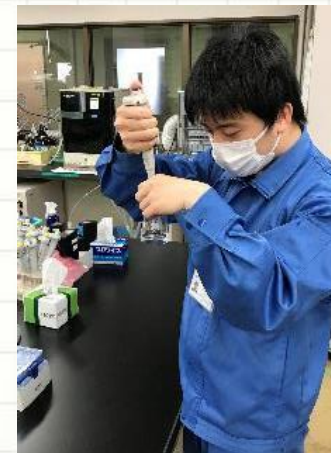
におい嗅ぎGC/MSを用いた異臭分析の様子



豊富な機器を取り揃え、調査研究や学会発表を行っています

化学職員の1日

- ◆ 部署 水道局工務部水質管理研究センター 調査室
- ◆ 勤務地 柴島浄水場 水質管理研究センター
- ◆ 具体的な業務 水道水質に関する分析業務および調査研究



1日の流れ(例)



①分析準備

- ・測定に用いる試料、器具、試薬等を用意
- ・分析機器の立ち上げ

②分析

- ・分析マニュアルに従って分析を実施
- (例)農薬類、有機フッ素化合物など

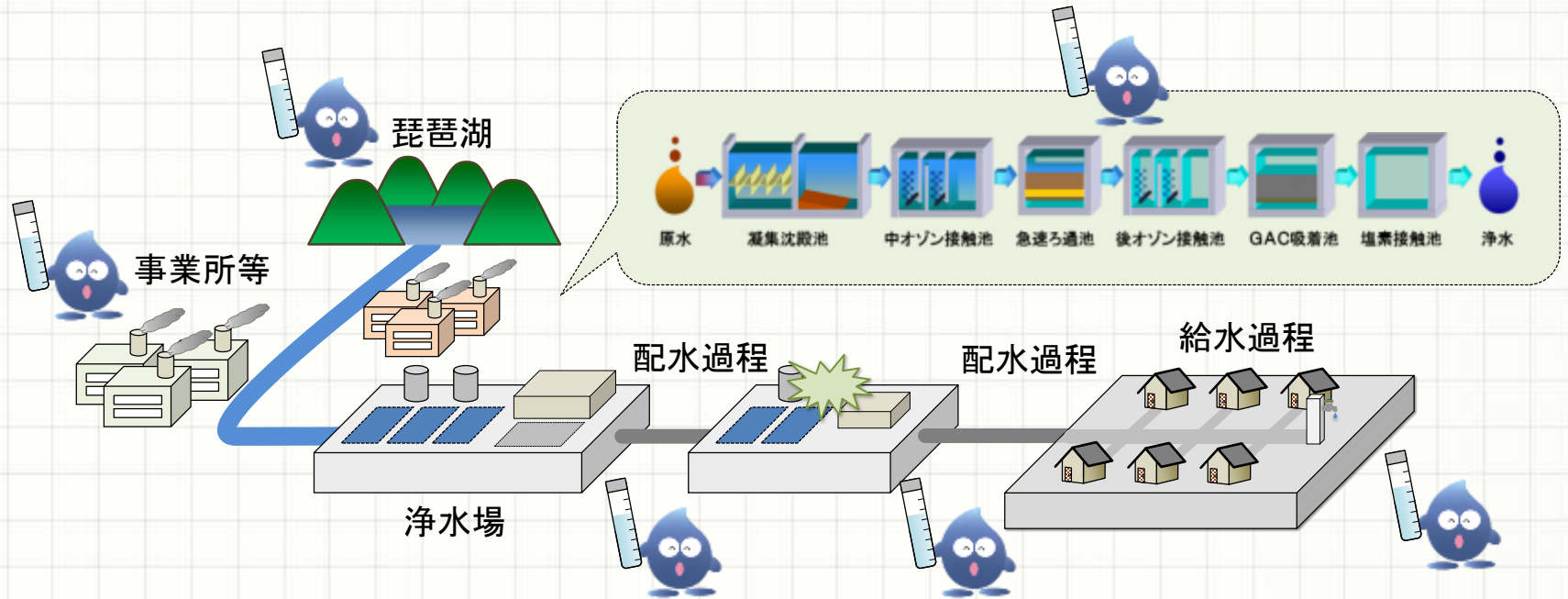
③データ解析

- ・解析ソフトを用いて検体中の目的物質の濃度を算出
- ・庁内パソコンでデータを整理
- ・報告書を作成

④発表準備、資料作製

- ・室内発表(調査室Workshop)や所内発表(集談会)、学会発表の準備
- ・データを整理し、発表概要やスライドを作成
- 〈R3年度の発表〉
- ・室内、所内発表
- 「令和3年度の農薬試験とその結果について」
- 「第47回質量分析講習会の受講報告」
- ・第65回日本水道協会関西地方支部研究発表会
- 「高分解能液体クロマトグラフ質量分析計を活用した淀川水系における農薬類の実態調査」

水源から給水栓に至る 統合的な水質管理



水源から給水栓までの過程で数多くの水質検査を実施し、
水道水の安全性を確認しています